

女性のチャレンジ支援策について(抜粋)  
(平成15年4月8日 男女共同参画会議基本問題専門調査会)

なぜ今、女性のチャレンジ支援が必要なのか

2. 基本的な考え方

(5) 仕事と子育ての両立支援の重要性

働く女性が増加している中、働きながら安心して子どもを育てることができる環境整備が急務となっている。女性の就業を支援すると、それが少子化を促進するという見方もあるが、国際的に見ると、出産・育児期にある女性の就業率が高い国の方がむしろ出生率が高いという傾向が見られる。このことから、出産・育児期にある女性の就業率も低く出生率も低い我が国においては、育児と仕事の両立が難しい等の状況が、子どもを産むことを躊躇させる要因の一つとなっていると考えられる。その意味で就業継続や再就職を望む女性に対して、仕事と子育ての両立支援に関する施策を充実させることは、結果として少子化を抑制することにつながるものと期待できる。

また、企業や研究機関等が人材の確保や組織の活性化のために取り組んできた前述のダイバーシティには、結果として少子化を抑制することにつながる施策も多い。その施策としては、多様な人材を活かすため、女性の採用拡大・職域拡大・管理職への登用、仕事と子育てが両立しやすい短時間勤務、在宅勤務等多様な働き方の推進、組織における男性を含めた働き方についての意識改革の推進、保育施設の設置などが含まれる。

したがって、女性のみならず男性も、生涯にわたり仕事と個人の生活時間のバランスをとった選択が可能となり、働きながら安心して子育てができるような環境づくりを進めることは、少子化への対応策としても意義がある。